



北上川上流に建設された「5つの多目的ダム」が 土木学会選奨土木遺産に認定されました

～ 岩手県の地域経済の発展に寄与 ～

ダム群としては「全国初」、岩手県内のダムとしても「初」

土木学会選奨土木遺産は、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度が設立されたものであり、この度、北上川上流総合開発ダム群が「北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・かんがい用水・上水道用水などの機能を併せた多目的ダム群として、北上川上流域の地域経済の発展に寄与した貴重な土木遺産」として土木学会より認定されました。

■北上川上流総合開発ダム群-[田瀬ダム、湯田ダム、四十四田ダム、御所ダム、石淵ダム]

- 北上川上流本支川に、治水・利水(発電、かんがい用水)の両面から多角的に計画され、地域の経済発展のため、田瀬ダム、湯田ダム、四十四田ダム、御所ダム、石淵ダムの「5つの多目的ダム」が建設され、現在においても岩手県域の発展に大きな役割を果たしています。
- 東北地方の選奨土木遺産は、これまでに32件が認定されており、今年度、只見線鉄道施設群(福島県・新潟県)の認定とあわせ34件目となります。なお、岩手県内では4件目の認定となります。

<認定概要>

- 名称：北上川上流総合開発ダム群
- 認定年月日：令和3年9月17日
- 完成年：田瀬ダム 昭和29年10月(今年で67年目)、所在地：岩手県花巻市
湯田ダム 昭和39年11月(今年で57年目)、所在地：岩手県和賀郡西和賀町
四十四田ダム 昭和43年10月(今年で53年目)、所在地：岩手県盛岡市
御所ダム 昭和56年10月(今年で40年目)、所在地：岩手県盛岡市
石淵ダム 昭和28年6月(今年で68年目※)、所在地：岩手県奥州市
※現在の胆沢ダムに「継承」。なお胆沢ダムは今年で8年目。
- 推薦者：岩手大学 教授 大西弘志氏
- 認定式等：実施日等、詳細については、あらためてお知らせいたします。

※詳細については土木学会のHPをご覧ください。

<http://www.jsce.or.jp/contents/isan/>

※北上川ダム統合管理事務所ホームページもご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ、奥州市政記者クラブ、北上市記者クラブ、東北専門記者会≫

<問い合わせ窓口>

国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地

副所長 さいとう きよみ 齋藤 清見 電話 019-643-7831(内線 205)

調査課長 みやざき ひろゆき 宮崎 裕之 電話 019-643-7973(内線 351)

< 参考資料 >

○東北地方の選奨土木遺産(令和2年度までに32件が認定)

認定年度	対象構造物	所在地	竣工年
H12	野蒜築港関連事業	宮城県	明治23年
H13	大湊第一水源池堰堤	青森県/むつ市	明治43年
H14	達磨部川橋梁、宮守川橋梁(釜石線) 安積疏水関連施設	岩手県/宮守村 福島県/郡山市・猪苗代町	昭和18年 大正10年
H15	上郷温水路群 最上橋	秋田県/象潟町 山形県/寒河江市・大江町	昭和25年 昭和15年
H16	北上川分流通設群 野辺地防雪原林	宮城県/豊里町・津山町 青森県/野辺地町	昭和7年 明治26年
H17	十綱橋 尾去沢鉱山施設群	福島県/福島市 秋田県/鹿角市	大正4年 昭和15年
H18	青岩橋 明鏡橋 尻屋崎灯台	岩手県二戸市~青森県三戸町 山形県/朝日町 青森県/下北郡東通村	昭和10年 昭和12年 明治9年
H19	土崎港関連施設 品井沼干拓関連施設 荒川流域治水・砂防事業	秋田県/秋田市 宮城県/松島町、東松島市 福島県/福島市	昭和13年 昭和15年 昭和32年
H20	最上川橋梁:JR左沢線 最上川橋梁(通称「荒砥鉄道橋」):フラワー長井線 直江兼続治水利水施設群	JR左沢線:山形県/寒河江市・中山町 フラワー長井線:山形県/白鷹町 山形県/米沢市	JR左沢線:大正10年 フラワー長井線:大正12年 慶長18年
H21	奥州街道の一里塚群 山形の石橋群	岩手県/盛岡市等 山形県/上山市等	承応元年ごろ 明治22年
H22	西根堰 仙台市煉瓦下水道	福島県/福島市・伊達市等 宮城県/仙台市青葉区	寛永9年 明治33年
H23	船川港第一船入場・第二船入場防波堤 疣岩円形分水工	秋田県/男鹿市 宮城県/刈田郡蔵王町	昭和5年 昭和6年
H24	万世大路	福島県福島市上町~山形県米沢市相生町	昭和12年
H25	三本木原開拓施設群-稲生川穴堰	青森県十和田市	万延元年
H26	仙山線鉄道施設群	宮城県仙台市、山形県山形市	昭和30年
H27	認定無し	—	—
H28	磐越西線鉄道施設群 四ツ谷用水 十三湖水戸口突堤 鳴子ダム	福島県、新潟県 宮城県仙台市青葉区 青森県五所川原市十三 宮城県大崎市	大正11年 昭和36年 昭和21年 昭和32年
H29	認定無し	—	—
H30	認定無し	—	—
R1	認定無し	—	—
R2	馬淵川放水路	青森県八戸市	昭和25年
R3	只見線鉄道施設群 北上川上流総合開発ダム群	福島県・新潟県 田瀬ダム:岩手県花巻市 湯田ダム:岩手県和賀郡西和賀町 四十四田ダム:岩手県盛岡市 御所ダム:岩手県盛岡市 石淵ダム:岩手県奥州市	大正14年 田瀬ダム:昭和29年 湯田ダム:昭和39年 四十四田ダム:昭和43年 御所ダム:昭和56年 石淵ダム:昭和28年

※ ☆印が国の河川管理施設

○各ダムの諸元等

- 田瀬ダム:型 式_重力式コンクリート
貯水容量_総貯水容量 1億4,650万 m3、治水容量 8,450万 m3
利水関係者_【発電】電源開発(株)
【かんがい用水】猿ヶ石北部土地改良区、江刺猿ヶ石土地改良区
土木的特徴_国内初の高圧スライドゲート採用、国内初の AE コンクリートの採用
- 湯田ダム:型 式_重力式アーチ
貯水容量_総貯水容量 1億1,416万 m3、治水容量 7,781万 m3
利水関係者_【発電】岩手県企業局、東北自然エネルギー(株)
【かんがい用水】岩手中部土地改良区
土木的特徴_国内初の圧着方式オリフィスゲート・フリップバケットの採用
- 四十四田ダム:型 式_重力式コンクリート・アースフィル複合
貯水容量_総貯水容量 4,710万 m3、治水容量 3,390万 m3
利水関係者_【発電】岩手県企業局
土木的特徴_土木として初めてドラム型重液選別を採用し不良骨材を除去、複合ダム形式を採用
- 御所ダム:型 式_重力式コンクリート・ロックフィル複合
貯水容量_総貯水容量 6,500万 m3、治水容量 4,000万 m3
利水関係者_【発電】岩手県企業局、【工業用水】岩手県企業局
土木的特徴_複合ダム形式を採用
- 石淵ダム:型 式_表面遮水型ロックフィル
貯水容量_総貯水容量 1,615万 m3、治水容量 560万 m3
土木的特徴_国内初のロックフィルダム
- 胆沢ダム:型 式_中央コア型ロックフィル ※石淵ダムの再開発によるダム
貯水容量_総貯水容量 1億4,300万 m3、治水容量 5,100万 m3
利水関係者_【発電】岩手県企業局、電源開発(株)
【かんがい用水】胆沢平野土地改良区
【上水道用水】奥州金ヶ崎行政事務組合

(参考)

○治水(洪水調節の効果【実績】)

平成 25 年の 8 月 9 日豪雨と 9 月 16 日台風 18 号による大雨では、御所ダムと四十四田ダムにおいて計画高水流量を上回る洪水が発生。特に御所ダムでは 8 月 9 日の短時間の集中豪雨により、計画高水流量 2,450 m³/s をはるかに上回る流入量 3,733 m³/s を記録。御所ダム・四十四田ダム共に可能な限り水を貯め込む防災操作を行い、下流河川の水位低減を図りました。

これにより北上川及び雫石川からはん濫による盛岡市街地での浸水被害を防止し、浸水家屋数で約 12,000 戸・被害額で約 5,500 億円を軽減したと推定されています。

○利水

1. 発電

発電用水として五大ダム合わせて最大 227.8(常時 58.25) m³/s が取水され、最大出力 123,900kw(H27 年時点)の発電が行われています。

五つのダムの年間発電量 531,738 千 kWh は、約 12 万世帯分(岩手県の世帯総数の約 23%)の 1 年間の消費電力をまかなえる量となります。

2. かんがい用水

四十四田ダムを除く 4 ダムからかんがい用水として必要な時期に最大 60.68 m³/s を取水しています。この取水により、岩手県内の水田面積 97,592ha(R1 時点)のうち約 25%の 24,323ha の水田が潤っています。これは、約 240 万人分の年間の米消費に相当する水田面積となります。

3. 上水道用水

上水道用水として奥州市・金ヶ崎町が胆沢ダムから 0.182 m³/s(15,700 m³/日)取水しています。これは、約 55,000 人/日の水道用水をまかなえる水量となります。

4. 工業用水

令和 2 年に御所ダム貯留水の工業用水使用が許可されています。今後、64,800 m³/日の水量をダム下流の北上川から取水し、北上工業団地の企業に工業用水を安定的に供給できることになり、産業振興と雇用の創出に寄与していくことが期待されます。



5つの多目的ダムの位置図



5つの多目的ダム